



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月12日

上場会社名 株式会社 横河ブリッジホールディングス 上場取引所 東証一部
 コード番号 5911 URL <http://www.ybhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 恒 容
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮 本 正 信 TEL (03) 3453 - 4116

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	46,628	14.8	△ 3,039	—	△ 2,436	—	△ 1,611	—
19年3月期第3四半期	40,604	△1.8	△ 5,408	—	△ 5,039	—	△ 2,122	—
19年3月期	61,622		△ 4,488		△ 4,058		△ 293	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	△ 39.15	—
19年3月期第3四半期	△ 51.90	—
19年3月期	△ 7.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	82,990	46,071	55.4	1,009.94
19年3月期第3四半期	93,209	52,530	50.5	1,150.47
19年3月期	92,359	53,522	51.8	1,171.64

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	△ 2,302	△ 1,014	△ 331	9,334
19年3月期第3四半期	△ 2,892	3,455	△ 318	13,160
19年3月期	△ 3,854	4,375	△ 459	12,973

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	71,500	16.0	△ 1,700	—	△ 850	—	500	—	11.87

（注）上記予想値は、平成19年11月19日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主要な事業であります鋼構造物のうち橋梁事業につきましては、当第3四半期までの総発注量は前年同期を下回りましたものの、当初予想していました年間40万トンの発注については順調に推移いたしました。また、国土交通省発注工事を中心に「総合評価落札方式」が積極的に採用されましたので、一部の自治体等で低価格入札は残るものの、全体的には受注単価も回復傾向にありました。一方、建築環境事業につきましては、昨年6月の改正建築基準法の施行に伴う建築確認の認可手続き遅延問題が、解決されないままに長引きましたので、好調な民間設備投資に水を差す結果となり、需要は減少傾向が続きました。

このような状況下、当社グループの橋梁事業の受注量につきましては、国土交通省発注の「総合評価落札方式」の大型物件を中心に受注に注力しました結果、技術力を高く評価して頂くことができ順調に増やすことができました。また、採算性を重視した入札対応により、採算も確保できるようになりました。建築環境事業につきましては、建築確認の認可手続き遅延問題の影響から、特にシステム建築事業の受注が滞りました。

決算面では、売上高は前年同期と比較して60億2千万円増の466億2千万円となりました。これは改正建築基準法の施行問題でシステム建築の受注が停滞したため、生産に影響を受け売上高も減少しましたが、連結子会社の横河工事が工事進行基準の適用拡大をしたことにより橋梁事業の売上高が大幅に増加いたしましたので、全体の売上高は増加いたしました。しかし、前期に受注した採算的に厳しい橋梁工事が売上計上の中心を占めているため、売上総利益は前年同期と比較して24億8千万円増加したものの、販売費及び一般管理費を吸収できませんでしたので、営業損失は30億3千万円、経常損失は24億3千万円、四半期純損失は16億1千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第3四半期末における総資産は829億9千万円となり、前年同期末と比較し102億1千万円減少しました。資産の部は、流動資産においては、現金同等物が減少したことと、連結子会社横河工事の工事進行基準の適用拡大で未成工事支出金が減少したことにより、466億5千万円（前年同期末比85億4千万円減）となりました。固定資産は、株式市況の悪化などにより投資有価証券が減少し、363億3千万円（同16億7千万円減）となりました。

負債の部は、横河工事の進行基準の適用拡大により未成工事受入金が減少したことと工事損失引当金が減少したことにより流動負債が前年同期末より68億円の減少となりました。固定負債は、当社と横河工事の株式交換により負ののれんの計上がありましたため30億4千万円の増加となり、負債合計は369億1千万円（前年同期末比37億6千万円減）となりました。

純資産の部は、株式交換により横河工事を完全子会社化したことなどにより、「少数株主持分」が前年同期末比53億9千万円減少し、「株主資本」が同31億9千万円増加し、「評価・換算差額等」が同42億6千万円減少いたしました。この結果、純資産は460億7千万円（前年同期末比64億5千万円減）となり、自己資本比率は55.4%となりました。

②キャッシュ・フロー

当第3四半期末における現金及び現金同等物の期末残高は、前年同期末に比べて38億2千万円減少し、93億3千万円となりました。

営業活動の結果使用した資金は23億円となりました。これは、当社グループでは公共事業への依存度が高いため、工事関連費用の支払いが先行し工事代金の回収が遅れがちになる傾向があることと、税金等調整前四半期純損失の計上によるものです。

投資活動の結果使用した資金は10億1千万円となりました。これは、主に有価証券と有形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は3億3千万円となりました。これは、主に配当金の支払いによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成19年11月19日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算等、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

連結子会社の横河工事は工期1年以上、かつ請負金額10億円以上、かつ連結会計期間末出来高進捗率30%以上の工事について、工事進行基準を採用していましたが、工事進行基準の適用範囲の拡大による、より合理的な期間損益計算の要求に対応するとともに、当社グループの進行基準適用要件の統一を図るため、当連結会計期間から工期1年以上、かつ請負金額1億円以上の工事について工事進行基準を採用することに変更しています。これにより売上高が8,457百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ265百万円減少しています。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

期 別 科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期 第3四半期末〕		当四半期末 〔平成20年3月期 第3四半期末〕		増 減 (△印は減)		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
現金預金	6,957		6,182		△ 774		9,112	
受取手形及び 完成工事未収入金等	18,703		20,786		2,082		23,467	
有価証券	8,085		3,691		△ 4,393		4,487	
未成工事支出金及び仕掛品	16,144		7,457		△ 8,687		10,430	
その他	5,336		8,592		3,255		6,089	
貸倒引当金	△ 26		△ 50		△ 23		△ 25	
流動資産合計	55,199	59.2	46,659	56.2	△ 8,540	△ 15.5	53,563	58.0
II 固定資産								
有形固定資産	20,034		20,005		△ 28		19,945	
無形固定資産	699		725		25		673	
投資その他の資産	17,275		15,599		△ 1,675		18,177	
固定資産合計	38,009	40.8	36,331	43.8	△ 1,678	△ 4.4	38,796	42.0
資産合計	93,209	100.0	82,990	100.0	△ 10,218	△ 11.0	92,359	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び工事未払金等	13,244		12,897		△ 346		13,822	
未成工事受入金	9,740		5,857		△ 3,882		8,514	
工事損失引当金	4,033		1,247		△ 2,785		2,548	
損害補償損失引当金	1,964		1,077		△ 887		1,136	
その他	2,322		3,422		1,099		4,041	
流動負債合計	31,305	33.6	24,503	29.5	△ 6,801	△ 21.7	30,064	32.5
II 固定負債								
退職給付引当金	6,796		6,293		△ 503		6,411	
役員退職慰労引当金	769		719		△ 49		804	
負ののれん	80		3,331		3,251		59	
その他	1,727		2,071		343		1,497	
固定負債合計	9,373	10.0	12,415	15.0	3,041	32.4	8,772	9.5
負債合計	40,679	43.6	36,918	44.5	△ 3,760	△ 9.2	38,836	42.0
(純資産の部)								
I 株主資本								
資本金	9,435	10.1	9,435	11.4	—	—	9,435	10.2
資本剰余金	9,033	9.7	10,081	12.2	1,047	11.6	9,033	9.8
利益剰余金	27,428	29.4	27,542	33.2	114	0.4	29,256	31.7
自己株式	△ 2,081	△ 2.2	△ 43	△ 0.1	2,038	—	△ 2,084	△ 2.3
株主資本合計	43,815	47.0	47,015	56.7	3,199	7.3	45,640	49.4
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	4,590	5.0	1,387	1.7	△ 3,202	△ 69.8	3,624	4.0
土地再評価差額金	△ 1,380	△ 1.5	△ 2,442	△ 3.0	△ 1,061	—	△ 1,379	△ 1.5
評価・換算差額等合計	3,209	3.5	△ 1,054	△ 1.3	△ 4,264	—	2,245	2.5
III 少数株主持分	5,504	5.9	110	0.1	△ 5,393	△ 98.0	5,636	6.1
純資産合計	52,530	56.4	46,071	55.5	△ 6,458	△ 12.3	53,522	58.0
負債、純資産合計	93,209	100.0	82,990	100.0	△ 10,218	△ 11.0	92,359	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

期 別 科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期		当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期		増 減 (△印は減)		(参考) 前期 (平成19年3月期)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
I 売 上 高	40,604	100.0	46,628	100.0	6,023	14.8	61,622	100.0
II 売 上 原 価	41,320	101.8	44,863	96.2	3,543	8.6	60,022	97.4
売上総利益又は 売上総損失(△)	△ 715	△ 1.8	1,764	3.8	2,480	—	1,599	2.6
III 販売費及び一般管理費	4,692	11.5	4,804	10.3	111	2.4	6,087	9.9
営業損失(△)	△ 5,408	△ 13.3	△ 3,039	△ 6.5	2,368	—	△ 4,488	△ 7.3
IV 営業外収益	493	1.2	804	1.7	311	63.1	595	1.0
負ののれん償却額	27		352		324		49	
その他の	465		452		△ 13		546	
V 営業外費用	124	0.3	201	0.4	77	61.9	165	0.3
経常損失(△)	△ 5,039	△ 12.4	△ 2,436	△ 5.2	2,602	—	△ 4,058	△ 6.6
VI 特別利益	3,771	9.3	—	—	△ 3,771	△ 100.0	5,557	9.0
固定資産売却益	1,597		—		△ 1,597		1,593	
投資有価証券売却益	2,030		—		△ 2,030		3,720	
その他の	142		—		△ 142		243	
VII 特別損失	2,186	5.4	519	1.1	△ 1,666	△ 76.2	2,553	4.1
異常操業度損失	1,236		—		△ 1,236		1,526	
損害補償損失	—		—		—		641	
損害補償損失引当金繰入損	641		—		△ 641		—	
特定工事損失	—		405		405		—	
その他の	308		114		△ 194		386	
税金等調整前 四半期(当期)純損失(△)	△ 3,454	△ 8.5	△ 2,956	△ 6.3	497	—	△ 1,054	△ 1.7
税金費用	△ 963	△ 2.4	△ 1,387	△ 2.9	△ 424	—	△ 516	△ 0.8
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△ 368	△ 0.9	42	0.1	411	—	△ 244	△ 0.4
四半期(当期)純損失(△)	△ 2,122	△ 5.2	△ 1,611	△ 3.5	510	—	△ 293	△ 0.5

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（平成20年3月期第3四半期）

（単位：百万円、単位未満切り捨て）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日 残高	9,435	9,033	29,256	△ 2,084	45,640
当四半期中の変動額					
株式交換に伴う増加高		327	7	△ 14	321
剰余金の配当			△ 276		△ 276
四半期純損失			△ 1,611		△ 1,611
自己株式の取得				△ 22	△ 22
自己株式の処分		0		0	0
株式交換による自己株式の減少		720		2,076	2,796
連結子会社増加に伴う増加高			165		165
持分法適用会社増加に伴う増加高			0		0
土地再評価差額金の取崩			1		1
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額（純額）					
当四半期中の変動額合計	－	1,047	△ 1,713	2,040	1,375
平成19年12月31日 残高	9,435	10,081	27,542	△ 43	47,015

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日 残高	3,624	△ 1,379	2,245	5,636	53,522
当四半期中の変動額					
株式交換に伴う増加高					321
剰余金の配当					△ 276
四半期純損失					△ 1,611
自己株式の取得					△ 22
自己株式の処分					0
株式交換による自己株式の減少					2,796
連結子会社増加に伴う増加高					165
持分法適用会社増加に伴う増加高					0
土地再評価差額金の取崩					1
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額（純額）	△ 2,236	△ 1,063	△ 3,299	△ 5,526	△ 8,826
当四半期中の変動額合計	△ 2,236	△ 1,063	△ 3,299	△ 5,526	△ 7,450
平成19年12月31日 残高	1,387	△ 2,442	△ 1,054	110	46,071

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	期 別		
	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額 (△は資金の減少)	金 額 (△は資金の減少)	金 額 (△は資金の減少)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△ 3,454	△ 2,956	△ 1,054
減価償却費	1,234	1,102	1,623
負ののれん償却額	△ 27	△ 352	△ 49
退職給付引当金の増減額	7	135	△ 378
役員退職慰労引当金の減少額	△ 459	△ 85	△ 424
賞与引当金の増減額	△ 462	△ 387	88
工事損失引当金の増減額	2,941	△ 1,300	1,456
損害補償損失引当金の増減額	377	△ 59	—
その他の引当金の増減額	△ 16	51	△ 42
受取利息及び受取配当金	△ 206	△ 238	△ 244
支払利息	18	15	24
有価証券売却損益	△ 2,025	△ 67	△ 3,689
固定資産売却損益	△ 1,597	0	△ 1,593
投資有価証券評価損	152	27	119
その他の収益及び費用の非資金分等(純額)	△ 154	101	△ 130
受取手形及び完成工事未収入金等の増減額	2,032	2,828	△ 2,732
未成工事支出金及び仕掛品の増減額	△ 5,580	2,973	132
支払手形及び工事未払金等の増減額	54	△ 1,056	633
未成工事受入金の増減額	4,523	△ 2,657	3,297
預り金の増減額	51	679	△ 540
損害補償損失	—	—	641
その他の資産及び負債の増減額	515	△ 758	868
小 計	△ 2,074	△ 2,003	△ 1,993
利息及び配当金受取額	207	238	246
利息の支払額	—	△ 0	△ 24
法人税等の支払額	△ 170	△ 537	△ 136
課徴金の支払額	△ 854	—	△ 854
損害補償金等の支払額	—	—	△ 1,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,892	△ 2,302	△ 3,854
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	△ 1,787	△ 1,498	△ 1,596
有価証券の売却による収入	—	1,094	1,597
有形固定資産の取得による支出	△ 1,031	△ 1,204	△ 985
有形固定資産の売却による収入	3,603	6	3,599
無形固定資産の取得による支出	△ 154	△ 270	△ 227
投資有価証券の取得による支出	△ 468	△ 51	△ 3,158
投資有価証券の売却による収入	3,290	798	5,173
関係会社株式の取得による支出	△ 0	△ 38	△ 0
貸付による支出	△ 32	△ 81	△ 117
貸付金の回収による収入	23	39	68
その他の投資活動による支出	△ 7	△ 9	△ 49
その他の投資活動による収入	20	200	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,455	△ 1,014	4,375
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
再生債権等の弁済による支出	—	—	△ 138
配当金の支払額	△ 310	△ 309	△ 310
その他(純額)	△ 7	△ 21	△ 10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 318	△ 331	△ 459
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△ 124	14
V 現金及び現金同等物の増減額	263	△ 3,772	76
VI 現金及び現金同等物の期首残高	12,896	12,973	12,896
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	134	—
VIII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	13,160	9,334	12,973

6. その他の情報

(参考) 製品別売上高、受注高及び受注残高 (連結) (単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分 事業別		期 別	前年同四半期 〔平成19年3月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成20年3月期 第3四半期〕	増 減 (△印は減)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
			金 額	金 額	金 額	金 額
売 上 高	橋梁事業		20,524	26,938	6,414	32,933
	建築環境事業		17,601	17,584	△16	25,036
	鋼構造物事業計		38,125	44,523	6,397	57,969
	先端技術事業		1,794	1,289	△504	2,713
	不動産賃貸事業		684	815	131	939
	合 計		40,604	46,628	6,023	61,622
受 注 高	橋梁事業		38,211	29,455	△8,755	48,961
	建築環境事業		17,953	18,277	323	24,914
	鋼構造物事業計		56,165	47,732	△8,432	73,875
	先端技術事業		2,512	2,409	△102	3,132
	合 計		58,677	50,142	△8,534	77,008
受 注 残 高	橋梁事業		57,261	58,119	857	55,602
	建築環境事業		12,289	12,508	218	11,815
	鋼構造物事業計		69,551	70,627	1,076	67,417
	先端技術事業		1,371	2,194	822	1,073
	合 計		70,923	72,821	1,898	68,491

(注) 当連結会計期間から事業区分の見直しを行いましたため、前年同四半期および前期についても見直し後の区分に変更した数値と比較しております。